

2023年04月07日
株式会社 CROSS SYNC

株式会社 CROSS SYNC は 2.8 億円の資金調達を実施しました。

株式会社 CROSS SYNC（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：高木俊介・中西彰、以下「当社」という。）は、株式会社アイティーファーム、株式会社日本政策投資銀行、株式会社アルム（DeNA グループ）、横浜キャピタル株式会社（横浜銀行グループ）らを引受先とする第三者割当増資により総額 2.8 億円の資金調達を実施したことをお知らせします。今後、2023 年 6 月までを目途に追加クローリングで資金調達を実施する予定です。

当社はこれまで、「ICU Anywhere」をビジョンに掲げ、集中治療専門医が不足する医療現場において、「医療安全と質の改善」「現場医療と遠隔 ICU スタッフの負担軽減」を目指して、重症患者管理アプリケーション(※1)を開発してまいりました。2021 年 3 月の資金調達以降には、公立大学法人横浜市立大学とともに、横浜市立大学附属病院において、重症患者管理アプリケーションを用いた実装研究を開始、さらには本年 2 月に更なる事業推進のために経営体制強化を実施しており、今後の製品開発や販路開拓による本格的な事業化に向けた取り組みを加速してまいります。

この度調達した資金は、「重症患者管理アプリケーション」の開発および採用・組織体制の強化に充てる予定**です**。本アプリケーションの製品化に向けてスピード感をもって開発に取り組むとともに、急性期医療現場の医療従事者にとってより使いやすく、一層の労務改善に繋がる有効的な研究・開発に取り組んでまいります。

※1 重症患者管理アプリケーション

本アプリケーションは医療従事者の院内業務や院外からの遠隔診療（遠隔 ICU 等）のサポートを目的としたソフトウェアです。具体的には、バイタルサインや患者さんの映像を外部機器から収集し、必要な加工処理を行なってビジュアル化することで、患者さんの状態のモニタリングやサマリー情報の参照を、いつでも、どこでも、行うことができます。これにより、病棟レベル、患者レベルでの状況把握、質の高い情報共有を促進し、急性期医療における医療安全の向上に資すると考えています。

■株式会社 CROSS SYNC

AI でデータに新たな価値を創造し、患者、家族、医療チームの情報共有を加速させるというミッションのもと、患者さんを守るため、スタッフの負担軽減のため、医療現場の最適化を目指しています。

医療従事者の疑問を検証する事で生まれた臨床研究の成果を、現場の課題解決に繋がるアプリケーションとして開発。患者管理の質と情報共有を加速する重症患者管理アプリケーションを提供し、患者、家族、医療従事者、社会を繋ぐ仕組みを創造していきます。

〈問い合わせ先〉

株式会社 CROSS SYNC 広報担当 竹田美希

Email : takeda@cross-sync.co.jp